

## 市民ごよみ

9月11日(木)  
人権を確かめあう日

9月30日(火)  
五條市戦没者追悼式  
場所◎中央体育館  
時間◎午後1時30分～

10月 1日(水)  
各種年金相談  
場所◎商工会館  
時間◎9時30分～16時

10月 2日(木)  
敬老会  
場所◎中央体育館

毎週金曜日  
消費生活・多重債務相談  
場所◎市役所別館相談室  
時間◎10時～15時

9月は  
固定資産税・都市計画税(第2期)  
国民健康保険税(第3期)  
の納期です。

納期限は9月30日(火)です。  
市役所本庁・支所の窓口、取扱金融機関で納付してください。

■問合先  
税務課徴収係  
☎(内線259・260)  
保険課保険税係  
☎(内線266・368)

### 表紙写真

夏の甲子園1回戦  
智弁学園高等学校勝利の瞬間

五條 9月号



原遺跡で出土した弥生土器(佐藤右文氏撮影)

私たちの生活に欠かせない器。その歴史は古く、日本列島では今から約1万3千年前に土器が発明されました。1万年以上続いた縄文時代の器は、素焼きで分厚く、その種類も主に深い鉢と浅い鉢、皿などに限られていました。

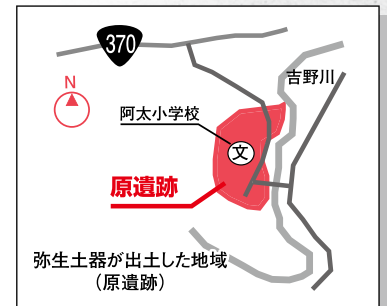
今から約2300年前、稲作の技術が大陸から列島に伝わると、人々はイモなどの根茎類に加えてコメなどの穀物も栽培するようになり、食生活が豊かになっていきました。それとともに土器も多種多様になり、壺は穀物や木の実などの貯蔵、甕は水や食事の煮炊き、高坏・鉢は盛り付けやお供えに使われました。このころはまだ個人の器(銘々器)がなく、これらは家族で使うものでした。

また弥生土器は縄文土器よりも薄く作られ、表面にはヘラや櫛状のもので波状、簾状、直線、流水、鋸歯、格子など、さまざまな文様が描かれました。曲線的なシルエットと優美な文様をもつ厚さ数ミリの壺や甕のできばえには、現代の陶工も舌を巻くといひ、当時の人々の高い技と豊かな感性がうかがえます。

五條では、吉野川沿いの原、滝、島野、六倉、野原、中などに弥生時代中期の集落が営まれ、たくさんの土器が使われました。写真は原遺跡の土器ですが、日常生活で使っていた壺や甕を、有力者のお墓に供える際に、下の方に孔をあけたようです。このような穿孔は他の遺跡の土器でも多く見られ、当時の共通した作法といえるかもしれません。

# 五條の歴史を探る 第4回

弥生土器



「五條の歴史を探る」では、市立五條文化博物館の収蔵品の中から、五條の歴史・文化を今に伝える資料とそのゆかりの地を紹介します。

■開館時間 午前9時～午後5時(入館午後4時30分まで)

○休館日 月曜日、祝日の翌日と年末年始

■問合先 市立五條文化博物館 五條市北山町930-2 ☎24・2011



市の動き(7月31日現在) ( )内の数字は先月比



人口36,912人  
(-56)



男17,628人  
(-38)



女19,284人  
(-18)



世帯数13,822世帯  
(-14)

平成20年9月発行 第717号 ●発行 五條市 ●編集 市長公室庶務課  
〒637-8501五條市本町1丁目1番1号 ☎22-4001

<http://www.city.gojo.lg.jp>

PRINTED WITH  
SOYINK  
大豆インキを使用しています